



号

真宗大谷派
高德寺通信

2019年新年号



法事のお斎とぎ

「ひと言コーナー」

仏事のあとの食事のことを「お斎とぎ」といひます。法事を営んだり、法事にお参りされた方は、お斎の席を経験されたこともあるかと思ひます。その時に皆さんの前で、亡くられた方と自分はいったいどんな関係があつてどんなおつき合いをしてきたのか、またどういつ工口ソードがあつたか等を語つたことはありますか……？

去る11月12日、父・新井道雄（高德寺第25世住職）の一周忌の法事を勤めました。法事が終り、墓参りを

済ませてから、場所を移してお斎の席を設けました。食事が始まつて30分くらい経つたあたりで、私から弔問いただいた方々にお願ひして、「父との関係や思ひ出、工口ソード等、何でもいいので一言喋つてください」と、ひと言コーナーの時間を取らせてもらいました。父のことは息子である私が一番よく知つておつたのですが、父の後輩にあたる方のお話しは、私が幼ない頃のことではじめて聞く話が沢山ありました。「へえ、そんなことがあつたのか……」一人、また一人とひと言コーナーが進んで行くにつれて、私の知らない父親の姿が知らされて来て、あらためて父と出遇あひなほおすことが出来たように思ひました。以前、あるご住職から、「法事を勤めるといふことは、亡き人のこと

を、もう一度いただきなすこと。そして
自分も必ずいのち終わっていかなきゃな
らん。限られたいのちをどう生きるか
てことを、確かめる場、それが法事…。
法事は三回忌で終わり…とか言う人
もたまにおられるが、そういう人は
限られたいのちをどう生きるかを確
かめる機会を捨ててしまっている！亡
くなっていかれた有縁うゑんの人たちのこと
をいただく…そこに私たちは自分の生
き方を確かめさせてもらってるんです。
と教えていただいたことがありました。
父の一周忌を勤めてみて、本当にそう
だなあと感じております。
亡き人を縁として、ご無沙汰だった親
戚の人たちや、友人、仕事関係の人等
といろいろな話をさせていただけける

のも、「お斎」という場のはたらきで
しよう。そして…一言だけ喋っておし
まいにしちゃおう…などと思いつて、話し
出すと、自分でも思ってもみない程、
いろいろと話してしまうんですよね。
不思議と…。。そして、急にグツ
ときて涙が流れてしまったり、大笑い
してしまったりと、予測不可能な時
間が流れるのも「お斎」の時間が
持つ力だと思えます。

法事の際に「お斎」の席を設ける際
には、是非とも「ひと言コーナー」を皆
で味わっていただきたいです。

※おひげさんの「新年号」には「年回表」
をつけております。年のはじめに、ご自
分の大切な方、ご先祖さまの年回に
当たっていただくかの「ご確認」をして、
当たっていきなすため、お寺に連絡してください。

ほう おん こう じん しやう 報恩講 嚴修

本堂内陣、阿弥陀如来の
右側に親鸞聖人の御掛軸
がご安置されています…。



2018年 10月 20日(土)

於：高德寺本堂



◆海法龍先生

報恩講とは、親鸞聖人の
ご命日(11/28)を縁として、親
鸞聖人が明らかになされた、
真実の教之を聴聞し、
集まった者が朋に確認
し合う：親鸞聖人のご
法事のことです。高德寺
では、10月20日(土)にお勤め
致しました。当日は天気に
恵まられて、多くのご参詣を
いただきました。海法龍先
生に、「教之を自分の都合で
聞いていませんか？」(親鸞聖
人の法事を縁として)という
講題で、ご法話をしていた
できました。



◆大法要…皆でお勤め。



◆ご法話…あつう間に時間
が過ぎて行くなあ〜。



◆年に一度の特別なお若殿。

お話しの中で、「報恩講は親鸞聖人の恩
に報いる講(集まり)なのに、ご恩講になつては
ないだらうか？」という問いかけに、「ドキッ
としました。我々人間は…慣れていく、忘れて
いく存在だから阿弥陀如来はお念仏と
なつて、我々に呼びかけ続けられているのだ
と、このことを確認する場が報恩講であると。
聞(き)んしん」といって、ただ
聞(き)きっぱなしではな
くて、私はこう受け取
りました、私はこう聞
いたよ、というように
講の中で、確認して
いくことが大切なのだ
ということが教えていた
できました。

修正会

2019年
1/1
10時より
本堂にて

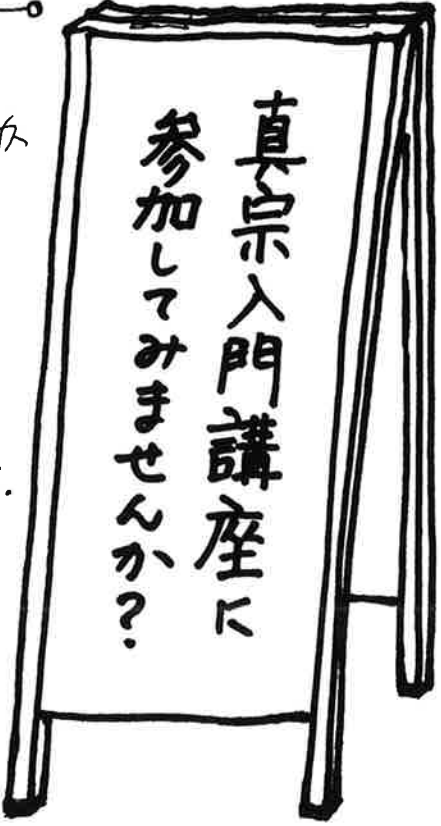


◆ 記念撮影後の茶話会の様子。

一年で一番最初のお参りです。有縁の方々と共に
お勤めいたしたいと思ひます。離れて暮らすご家
族が、この修正会で顔合わせを合はせると、そんなご門
徒さんが増えております。終了後に、記念撮影、
茶話会をいたしてありますので、お時間のある方は
どちらもご参加ください。お念珠を^{ゆきだま}持参(有衣があ
る方はどちらも持参ください)の上、平服にてご参詣ください。

「私は... 何のために生きているのだろう？
そして、どこに向かって歩いていっているのだろうか
？」
そのことを浄土真宗の教へ、
親鸞聖人のお言葉に触れながら、尋
ねてみませんか？

- ◆ 2019年 **3月11日**(月)~**13日**(水) (2泊3日)
 - ◆ 練馬にお真宗会館内で有縁の方々と寝食を共にします。
 - ◆ 講師は **海法龍** 先生(横須賀長願寺住職)
 - ◆ 参加費は15,000円(宿泊費・食費・研修具加金ほか)
- ※ 高德寺住職も3日間、幹事としてこの講座
に参加いたします。参加ご希望の方は住職
もしくは、真宗会館までご連絡ください!!



おみがき 御礼



大久保 恵子さん
磯村 貴美子さん
杉村 健一さん
江守 敏雄さん
大槻 宏子さん
鈴木 新一さん
稲葉 千代子さん
神野 くららさん
(いほいほを願ひす)

応援いただきまして
感謝・感激であります♪

海東 雅子さん 水越 拓路さん
清水 和美さん 水越 和子さん
菅原 悟さん 峯 節子さん
塚田 和子さん 柳澤 佐智子さん
寛谷 恵美子さん 前坊守(新井和子)

(2018年 9月16日(日)) (あいうえお順です)

いつも有難う
ございます！

～2019年の予定～

3/10(日) 7/7(日) 9/1(日) 12/22(日) *寺で盆絵やり討。

◆おみがき奉仕 をしてくださる方、毎回お待ちしております!!
どなたでも参加いただけます。エプロンをご持参ください。



◆寺ヨガの1コマ...。
まん中の足が天井向いてる方が「いまこまゆ先生」です。

2019年は3月と8月
お休みいたします。
日程等の詳細
は別紙に記載
しておりますので
ご確認ください。

おしゃべりしたり、人の話に耳を傾けたり、笑ったり、身体を動かしたり、仏法を味わったり、お菓子を頬張ったり...そんな場所が月に一度、高德寺に開かれます。どの回からでもご参加いただけます。お気軽に足を運んでみてください。お待ちしております。

寺子屋の時間 & 寺ヨガ

2019 ねん

高德寺年中行事

10月

- ◆ 報恩講 (10月19日(土))
ご法話の講師は海法龍先生です。お誘い合わせの上、ご参詣ください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ⑧ (10月5日(土))

11月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ⑨ (11月2日(土))

1月

- ◆ 修正会 (1月1日)
しゅうしゅうえ
10時より本堂にて勤まります。お誘い合わせの上、平服でお参りください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ① (1月19日(土))

2月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ② (2月2日(土))

9月

- ◆ おみぎきの会 (9月1日(日))
- ◆ 秋彼岸会 (9月20日(金)~26日(木))
9月23日(秋分の日)の11:30より本堂にて法要が勤まります。お参りください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ⑦ (9月14日(土))

12月

- ◆ おみぎきの会 (12月22日(日))
終了後寺にて、望年会をいたします。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ⑩ (12月14日(土))
望年会を予定しております。

3月

- ◆ おみぎきの会 (3月10日(日))
- ◆ 春彼岸会 (3月18日(日)~24日(日))
3月21日(春分の日)の11:30より本堂で永代経の法要が勤まります。
- ※ 寺ヨガ・寺子屋の時間はお休みします。

8月

- ◆ GOENZ (ゴ-エンス) チャリティライブパーティー (8月25日(日)夕方~)
※ 寺ヨガ・寺子屋は、お休みします。

4月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ③ (4月6日(土))

7月

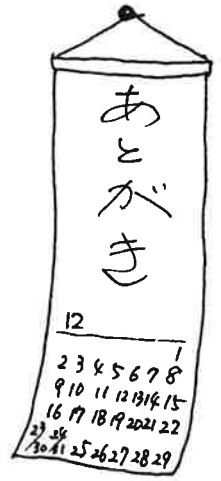
- ◆ おみぎきの会 (7月7日(日))
- ◆ 盂蘭盆会 (7月13日(土)~16日(火))
うらぼんえ
- ◆ 合同新盆法要 (7月15日(日)海の日)
いっごうしんぼん
※ 11時と14時の部があります。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ⑥ (7月20日(土))

6月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ⑤ (6月29日(土))

5月

- ◆ 高德寺旅行会
5月31日(金)~6月2日(日)
九州(博多&熊本&宮崎)です!
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間 ④ (5月11日(土))



11月30日に、11月のカレンダーを破り取り、残り一枚になった

12月のカレンダーに……

『^{あかま}暁』あかつきとは、夜明けのこと。すべての言い訳を振り

払って前進しよう。つらいのは

私だけではないはずだ。と

あった。まったくその通りだ。

つらさの内容は一人一人違うけ

れど、どんな人も苦悩をかかえた

身であるというその一点では同じだ

と思う。言い訳を振り払いながら前

進んでいきたい……出来るかな？……？

進んでいきたい……出来るかな？……？

釋義祐



『親鸞聖人血脈文集』(真宗聖典 P.594)

<表紙の絵> 「獅子」

発行日 2018.12.18

発行 真宗大谷派 高德寺

編集 住職 新井義雄 (法名 釋義祐)

〒164-0002

東京都中野区上高田 1-2-9

☎ 03-3368-6947

FAX 03-3362-8019

『おかげさん85号』は藤井清三さまの厚意によって、発行することができました。有ること難しのおかげさんであります♪